



戦争中の子どもたち

2025年 9月23日火祝～11月22日土

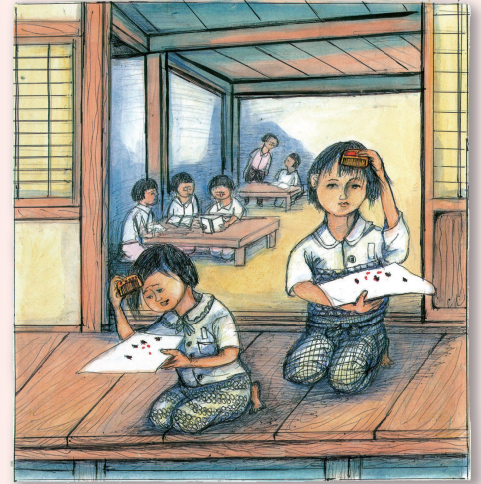
子ども企画展は、戦時下の教育や子どもたちの暮らしを、ピースあいち所蔵の実物資料とパネル展示を通して振り返ります。

戦況の悪化に伴い、子どもたちは次第に戦時体制に組み込まれていきました。都会では空襲が激しくなり、1944(昭和19)年の夏から学童の集団疎開が始まりました。

今回の特別展示は、「学童疎開」を取り上げます。親もとを離れ、慣れない環境で空腹を抱え、農作業もした集団疎開の実情を紹介します。また、障がいを持った子どもたちの学童疎開についても焦点を当てます。



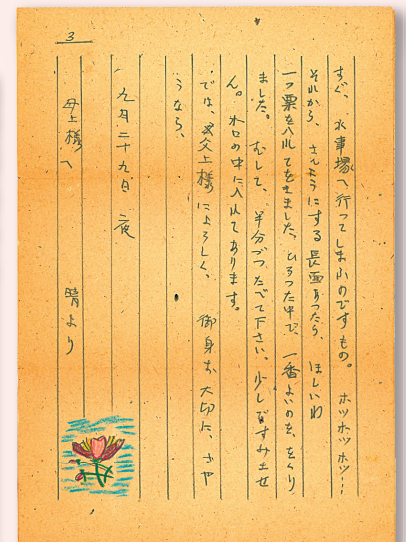
▲長野県上山田村に集団疎開した東京都立光明国民学校



▲シラミ取り「うちへ帰りたい」全国疎開学童協議会編 より

疎開して
六年
八月五日 吉野

大東亜戦争に勝つ為、私達は、名古屋の町を
はなれ、父母のもとを離れて、遠い、付知の町へ、八月
廿、集団疎開を、してまいりました。
親切な町の方々や寮母さん先生や色々な人々に、
みなが来て、大東亜戦争が勝つまで、この付知
に居るのです。
付知へ来た四ヶ月は、何だか、さみしく、家へ歸りた
いやうな気にもなりましたが、これも、大東亜戦争に勝つ
為、皇室が、あそこへになる為と思ふと、何となくなり
今では、家になる時よりたのしくなりました。
護国神社へ行ったり、驛まで、先隊さんを送りしたり
お祭りをして川へ行ったりして、体を丈夫にして、いかに
なればすぐ間にあふやうになつて、家へ歸る様、毎日、
願ひをします。
父母や、又、寮母さん先生に、一番、御心配をかける
事は、病気になる事であるから、毎日の生活に、先生
や又寮母さんに御心配をかけるやう注意してをります。
私は、まだ、こちらへ来てから、一度も病気になるやうな
いふ、ゆだんをせぬやうにしてをります。



▲岐阜県恵那郡に集団疎開した6年生の児童が書いた作文と家族に送った手紙

《関連イベント》

秋の朗読会

10月18日(土)
13:30~14:30

★おとうさんはどこに いりえともよ
★ガザ日記:ジェノサイドの記録
アーティフ・アブー・サイフ 他
ピースあいち朗読の会「オリーブ」

講演会

11月1日(土)
13:30~15:00

「戦争の文化と子どもたち」

講師:西形久司さん

1階交流広場 入館料のみ(要予約) TEL052-602-4222 (定員50名)

《2階映像コーナー》

「戦後80年 東山ゾウ物語」

桐山女学園大学栃窪ゼミ作成

「あんずの花につつまれて」

光明国民学校の学童疎開の

紙芝居

■ 開館時間 11:00~16:00 (最終日は15:00まで)

■ 休館日 日曜、月曜

■ 入館料 大人300円、小中高生100円

[博物館相当施設]

戦争と平和の資料館 **ピースあいち**

名古屋市名東区よもぎ台2-820

TEL&FAX 052-602-4222

戦争と動物たち

2025年9月23日火祝～11月22日土

I「ゾウを守った東山動物園」

戦争末期、ほとんどの動物園では、動物たちが軍の命令で殺されていきました。しかし、名古屋の東山動物園のゾウは当時の北王園長らの必死の努力で生き延びることができました。戦後、日本でたった二頭になったゾウを見ようと全国各地から子どもたちが「ぞうれっしゃ」に乗って名古屋にやってきました。パネル展示ではこの史実を東山動物園開園にさかのぼって紹介しています。



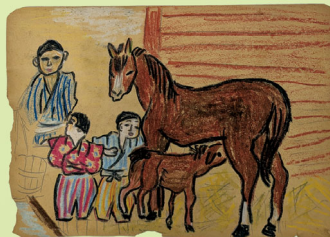
展示風景

II「戦時下の動物たち」

犠牲になったのは、動物園の動物たちだけではありません。数十万頭の馬やたくさんの鳩などが「もの言わぬ兵士」として戦場に連れて行かれました。兵士の防寒具として犬、猫やうさぎなども供出させられました。



展示資料 防寒帽子



展示資料 紙芝居「グンバノガタリ」

【博物館相当施設】

戦争と平和の資料館

○開館時間 11:00～16:00 ○休館日 日曜、月曜

○入館料 大人 300円 小中高生 100円

ピースあいちの常設展示

- 第1展示 愛知県下の空襲
- 第2展示 戦争の全体像・15年戦争
- 第3展示 戦時下の暮らし
- 第4展示 現代の戦争と平和



〒465-0091 名古屋市名東区よもぎ台 2-820
TEL&FAX 052-602-4222
<https://peace-aichi.com/>



- ▶地下鉄東山線「一社」①出口から北へ徒歩12分
- ▶地下鉄東山線「上社」から市バス上社11系統「じあみ」下車、西へ徒歩3分
- ▶駐車場(有料(300円)2台)(障がい者用無料1台)